

図書の窓から

浜田高校図書館
R2.12.22 発行
1-7号



毎日マスクを着けて過ごすことが日常と化した昨今。暑い最中はうんざりしたのですが、最近はマスクの温かさがありがたく思えるようになりました。そういえば大正時代にスペイン風邪が猛威を振るっていた頃にも、人々にマスクの着用が呼びかけられていたようですが、当時の新聞記事によると、マスクを「口覆器」と表現していたようです(残念ながら読み方は分かりませんが…「コウフクキ」でしょうか)。字面から察するに、鼻が覆われていないように思えます。感染症予防のために、口と鼻を覆うようマスクを正しくつけましょう!



冬休み中の図書館利用について

■開館日: 12月24日(木)・25日(金) 8:15~17:00

※12月28日(月)~1月6日(水)は休館です。

■12月24日(木)までに借りた本の返却期限: 1月7日(木)

※貸出冊数は10冊までです。

始業式!



お披露目③



←(前号の続き)
LGBTをはじめ、
多様性について
考える本

※前号からかなり
間が空いてしまい
失礼いたしました。

- 367『はじめて学ぶ LGBT 基礎からトレンドまで』石田仁/著、ナツメ社
- 367『わたしらしく、LGBTQ 1~4』ロバート・ロディ&ローラ・ロス/著 大月書店
- ★LGBT (Q) について詳しく知りたい人は、まずはここから。
- 916『パパは女子高生だった 女の子だったパパが最高裁で逆転勝訴してつかんだ家族のカタチ』前田良/著 明石書店
- ★「性別変更した夫を父親として認める」という結果を最高裁で手にした家族の物語。
- E『レッド あかくてあおいクレヨンのはなし』マイケル・ホール/作 子どもの未来社
- ★レッドは青いクレヨンなのに、赤いラベルが巻かれている。どんなに頑張っても赤い色が出せなくて…。優しくて深い絵本。

読んでみたい!先生のイチオシ本。 今年度着任された先生方に本を紹介していただきます。

よねはら かつじ
Vol.11 米原 勝治先生(地歴公民科[地理]/陸上競技部/2-1 副担任)のイチオシ本です!

- 『スポーツ・部活動と人権教育』(全国人権教育研究協議会/編集・出版 2018年)
- 本書は中学校・朝鮮高級学校でのサッカー・ラグビー・野球の事例による実践編と、オリンピック憲章・サッカー(FIFAの取り組みなど)・ラグビーによる資料編から構成。また部活動風景のイメージとして前任校野球部の写真も掲載されています。本書を読んでいた2019年の春、執筆者の一人に人権教育の講演を依頼することになり連絡準備を進めます。夏の講演では「日本代表」の条件を考えるワークショップも実施。秋のラグビーワールドカップの予習にもなりました。冬には「スポーツと人権」をテーマに元陸上競技選手の為末大さんによる講演も開催。私の昨年度の振り返りにもなる一冊です。この本との出会いの向こうに人との出会いがありました。
- 本には「であいとつながり」をもたらす役割もあるのです。これからまたどんな「であい」があるのでしょうか!? 浜田高校の部活動の発展を願うとき、部員としてあるいは顧問として参考になる視点も含まれていると思います。
- 本の 部活動をしてみたいくなる度 … ★★★☆☆ 本の スポーツのあり方を考える度 … ★★★☆☆



あおやま こうき
Vol.12 青山 皓輝先生(英語科/男子テニス部・女子テニス部/1年部)のイチオシ本です!

- 『きみの友だち』(重松清/著、新潮社 2005年)
- 「本当の友だちって、なんだろう」。そんなモヤモヤを抱えたこと、誰も一度はあるのではないのでしょうか。友だちの顔色ばかり気になってしまう人、友だちと常に一緒じゃないと安心しない人、誰のことも信じない人、なんとなく自分よりできる人が気に入らない人…。そんな「みんな」に、「本当の友だち」の意味を考えさせられる一冊。それぞれの物語に「ほんとうの友だち」の意味がちりばめられた短編集で、物語の繋がりもおもしろい作品です。友だちについて、いわゆる大人が言う「きれい事」と、「そんなうまくいかねえよ」というリアルが共存した一冊。
- 私がこの本に出会ったのも高校生の時でした。この本を読んで「本当の友だち」の意味を考えてから、友だちとの関わりでくよくよすることもなくなりました。友だちとの関わりで悩みやすい高校生みんなに、是非読んでもらいたい一冊です。
- 「本当のともだち」って、なんだろう?
- 本の 共感度 … ★★★★★ 本の 買って家に置いときたいくなる度 … ★★★★★



今回は先生方のイチオシ本・購入本のお披露目のどちらも、人権について考えるきっかけに本を掲載しました。身近な問題に思いをめぐらせる端緒になる本ばかりです。ぜひ手に取ってみてくださいね。

【進路・受験に関する本】

031『現代用語の基礎知識 2021』 自由国民社

307『高校生よく出る一般常識問題集 22年版』成美堂出版

376『ゼロから1カ月で受かる大学入試面接のルールブック 改訂版』 神崎史彦/著、KADOKAWA

★オンライン面接への対処法も解説。

816『時事から学ぶ小論文 第5号 文化編』朝日新聞社

816『小論文これだけ! 書き方経済・経営編』

樋口裕一、大原理志/著 東洋経済新報社
※**366『科学的な適職』**鈴木祐/著

クロスメディア・パブリッシング

317『マンガでわかる警察官になるための専門常識』

鈴木俊士/監修、稀沢/留美/マンガ

320『法学を学ぶのはなぜ?』

森田果/著 有斐閣

★何となく法学部に進学しようかな…と
思っている人、読むべし。

329『国際公務員になるには』 横山和子/著 ペリかん社

520『建築士の一曰』

WILL こども知育研究所/編著、保育社

687『男子客室乗務員になる本』 イカロス出版

【情報科学】

※**007『AIは人類を駆逐するのか?』** 太田裕朗/著 幻冬舎forIAJカンパینگ

★人類が生み出したAI。人類はAIと共存できるのか、それとも駆逐されるのか。

【島根に関する本】

093.1『みんなでつくる中国山地 No.1(2020)』 中国山地編集舎

★“過疎”と呼ばれる自治体が数多く存在する中国山地。地域の強みを伸ばし、未来に向けて歩む人々の姿に迫る。

095.9『昔から伝わるつわの町の郷土料理集』 津和野町食生活改善推進協議会

★浜田市にも津和野町にも、同じような郷土料理がある。でも微妙に食材や味付けが異なる。そんな違いも楽しみたい。

【世界史・日本史】

209『一度読んだら絶対に忘れない世界史の教科書 経済編』

山崎圭一/著 SBクリエイティブ

★高校教師 YouTuber による人気シリーズ。今回は世界各地の同時代のつながりを、

「お金」を主軸として解説。

210.5『地図でスツと頭に入る幕末・維新』木村幸比古/監修 昭文社

★地図で学ぶ歴史シリーズの幕末～明治初期編。ちなみに浜高図書館では『日本史』『世界史』が人気です。

【政治】

♪**312『女性のいない民主主義』**

前田健太郎/著 岩波新書

★今なお政治権力が男性に集中している日本。女性を政治から締め出してきたものは何なのか。

【消費者問題】

365『買い物難民対策で田舎を残す』 村上稔/著 岩波ブックレット

★高齢化と店舗の減少で、県内でも深刻さを増す買い物難民問題。地域社会の消滅へとつながらないためにできることは。

【福祉】

※**369『子どもの心の声を聴く 子どもアドボカシー入門』**

堀正嗣/著 岩波ブックレット

★子どもの声を聴き、それを社会に伝える「子どもアドボカシー」が注目されている。子どもを救うためにできることは。

369『障害のある子が将来にわたって受けられるサービスのすべて』

渡部伸/監修 自由国民社

★障害があることで利用できる福祉サービス、公的な支援策、経済的なサポート制度などを、本人の年代やシーンごとに紹介。

【教育】

♪**371『パウロ・フレイレ「被抑圧者の教育学」を読む』**

里見美/著 太郎次郎社エディタス

★被抑圧者が自由の身になるきっかけを探り続けた、ブラジルの教育思想家フレイレの主著を読み解く。

※**374『日本で一番まっとうな学食』** 山本謙治/編著 家の光協会

★無添加・天然素材の食材での学食を提供する自由の森学園の理念から、あるべき食育のかたちを考える。

375『僕たちの部活動改革』

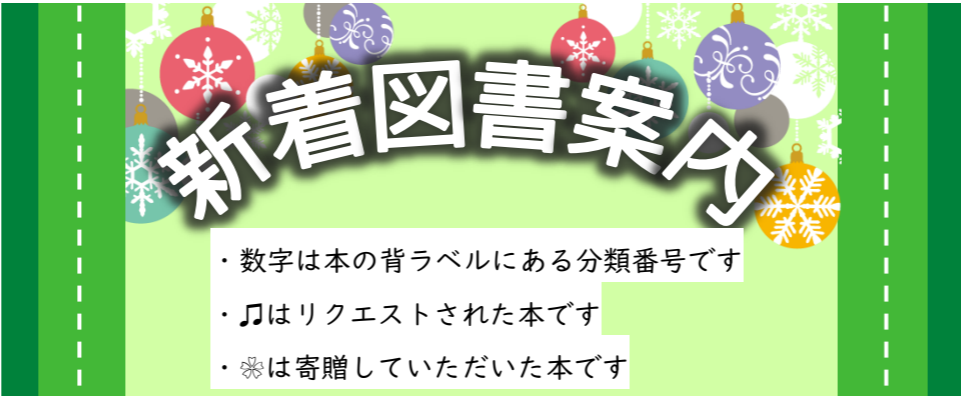
神谷拓/著 かもがわ出版

★あなたの所属する部活が突然廃部を言い渡されたら…。ストーリーを追いながら、生徒主体の部活運営について考える。

378『親子で理解する発達障害進学・就労準備の進め方』

鈴木慶太/監修 河出書房新社

★発達障害の子どもの進学から就職へのアプローチまで、わかりやすく解説。



378『“うつ”“ひきこもり”の遠因になる発達障害の“二次障害”を理解する本』

宮尾益知/監修 河出書房新社

★二次障がいとはなぜ起きるのか、どのようなサポートをすれば防げるのかななどを解説。

【化学】

430『吉野彰特別授業「ロウソクの科学」』吉野彰/著 NHK出版

★昨年ノーベル賞を受賞した吉野教授の愛読書として注目された『ロウソクの科学』。初めて読む人のための解説書。

【医学・栄養】

※**498『強制不妊と優生保護法』** 藤野豊/著 岩波ブックレット

★なぜ障がい者やハンセン病患者に不妊手術が強制されたのか、その歴史をたどる。

498.5『科学的に正しい食品の大百科』 ニュートンプレス

★食材、栄養素、調味料、そして食の安全。科学的に正しい知識を身につけましょう。

【都市工学】

♪**518『まち路地再生のデザイン』** 宇杉和夫/ほか編著 彰国社

★私たちの身近にある路地。路地が形づくられた歴史と、路地を起点とするこれからのまちづくりについて解説。

【環境問題】

519『ひと目でわかる地球環境のしくみとはたらき図鑑』

トニー・ジュニパー/著 創元社

★地球環境問題をもたらす原因となる国際関係、社会経済システム、科学技術などの関係を解説したビジュアル図鑑。

【料理】

596『一生使える!野菜のおかず事典 300』阪下千恵/著 学研プラス

★食材から引ける野菜のおかず事典。例えばニンジンでどんなおかずを作ろうかな?…と思ったときに役立つ一冊。

【都々逸】

911.6『26文字のラブレター』 遊泳舎/編 いとうあつき/絵 遊泳舎

★都々逸(どどいつ)とは、江戸末期から明治にかけて流行した7・7・7・5音の詩。恋愛にまつわる60作品を、現代解釈を交えたイラストとともに紹介。

【演劇】

♪**912『僕がコントや演劇のために考えていること』**小林賢太郎/著 幻冬舎

★劇作家であり、コント師・役者でもある(←こちらに関しては先日引退を発表されました)著者による“劇論”。

【日本の小説】

913『#塚森裕太がログアウトしたら』 浅原ナオト/著 幻冬舎

★高3のバスケ部エース・塚森裕太が、同性愛者であることをSNSでカミングアウト。彼の衝動は思わぬ波紋を広げ…。

913『法廷遊戯』 五十嵐律人/著 講談社

★ロースクールに通う久我清義と織本美鈴。2人の過去を告発する差出人不明の手紙をきっかけに、不可解な事件が続発。

♪**913『あの夏が飽和する。』**

カンザキイオリ/著 河出書房新社

★逃避行の果てに自ら命を絶った流花。13年後、生き写しの瑠花が現れる。破滅に向かう瑠花と同級生の武命を救えるか?

♪**913『最良の嘘の最後のひと言』** 河野裕/著 創元推理文庫

★大企業が「4月1日に年収8000万で超能力者をひとり採用する」という告知を出した。大学生の市倉は、策略を駆使して採用試験に挑む。

913『この気持ちもいつか忘れる』 住野よる/著 新潮社

★平凡な日常に嫌気がさしているカヤは、16歳の誕生日を迎えた直後、深夜のバス停で異世界の少女に出会う。

♪**913『幽霊人命救助隊』** 高野和明/著 文春文庫

★浮かばれない霊たちが、天国行きと引き替えに人命救助隊を結成。救うべきは100人の命。

913『沖晴くんの涙を殺して』 額賀滯/著 双葉社

★大津波で家族を喪った沖晴は、死神にさまざまな感情を差し出して生還する。残された感情は喜びだけとなった沖晴は、余命わずかの音楽教師・京香と出会う。



913『この本を盗む者は』 深緑野分/著 KADOKAWA

★曾祖父の蔵書が盗まれ、本の呪いが発動し、街は物語の世界に姿を変えていく。泥棒を捕まえない限り元に戻らないと知った深冬は…。

913『ベルリンは晴れているか』 深緑野分/著 筑摩書房

★4カ国統治下のベルリン。ドイツ人少女アウグステは、恩人の男の不審な死を知り、彼の甥に訃報を伝えるため旅立つが、なぜか陽気な泥棒を道連れにする羽目に…。

♪**913『ぼくたちと駐在さんの700日戦争 1～27』**

ママチャリ/著 小学館文庫

★イタズラに精を出す高校生グループと、大人げない駐在さんの攻防の日々。

【外国の小説】

949『リスからアリへの手紙』 トーン・テレヘン/著 河出書房新社

★高い木に家を構える思慮深いリス君や、蜜が大好きな奥ゆかしいアリさん。個性豊かな動物たちが好きな食べ物や誕生日についてやりとりする。

※ **シリーズ続編入りました** ※
457『リアルサイズ古生物図鑑 新生代編』土屋健/著 技術評論社

913『Another 2001』 綾辻行人/著 KADOKAWA

913『櫻子さんの足下には死体が埋まっている 16』太田紫織/著 角川文庫

913『探偵は友人ではない』 川澄浩平/著 東京創元社

★『探偵はぼっちじゃない』の続編。

913『ソードアート・オンライン 22～24』川原礫/著 電撃文庫

913『今昔百鬼拾遺-月』 京極夏彦/著 講談社文庫

913『さよならの言い方なんて知らない。 4』河野裕/著 新潮文庫 nex

913『キノの旅 23』 時雨沢恵一/著 電撃文庫

913『神話の密室(天久鷹央の事件カルテ 6)』

知念実希人/著 新潮文庫 nex

913『扇物語』西尾維新/著 講談社

913『人類最強のヴェネチア』 西尾維新/著 講談社

913『夢をかなえるゾウ 4』 水野敬也/著 文響社

932『シェイクスピア全集 22・23、25～32』

松岡和子/訳 ちくま文庫